

J A ふくしま未来
営農経済部園芸課

【りんご】

中生種が減少となり全体量が少なく、不足感のある販売環境は継続となりました。今後は青森産「サンふじ」の入荷が徐々に増加してくるため、末端の消費動向を注視しながらの販売となる見込みとなっております。

【ぶどう】

長野県産「シャインマスカット」中心の入荷となり、貯蔵品の入荷も開始となりました。露地作は終盤となり下位等級品が多いため、全体量は減少傾向であるが荷動きは悪い状況となりました。今週は一定の売り場を確保してのダラダラとした販売が続いていく見込みとなっております。

【きゅうり】

宮崎産の増量が鈍く、関東産の減少が早いことから入荷量は非常に少ない状況が続き高値販売となりました。今後は宮崎産の増量が見込まれることから相場は下げの見通しだが、関東産の入荷量が例年を大きく下回る見込みから高値傾向は変わらない見込みとなっております。

【に ら】

増量見込みであった栃木産などの出方が鈍いことに加え、他の野菜の品薄高の影響で引き合いが強まり相場は強保合いとなりました。今後は栃木産のダラダラ出荷が続く見込みの中で、気温低下による需要増が見込まれるため相場はジリ上げの見通しとなっております。

【春 菊】

関東産は微増となったが他葉菜類の入荷の少なさから末端の引き合いは強く相場はジリ上げとなりました。今後も野菜全般の入荷の少なさから引き合いは維持される見込みで相場は保合い見通しとなっております。